

地区名	クラブ数	会員数
豊科地区	8	637
穂高地区	21	1,486
三郷地区	8	817
堀金地区	4	257
明科地区	8	657
合計	49	3,870



第15号 2020年(令和2年)2月28日 発行

2012年10月15日 創刊

発行所
 安曇野市老人クラブ連合会
 安曇野市社会福祉協議会内
 〒399-8211 安曇野市豊科4160-1
 TEL 0263-72-1871

発行者 藤岡 嘉
 印刷 (株)総合印刷

令和元年・市老連活動を顧みて



会長 藤岡 嘉

昨年の五月一日、新天皇の即位に伴って平成から令和に元号が替わったこの一年間、何と短かった事か「あっ！」と云う間に過ぎ去った感じがします。振り返り見ると、四月に第三十六回「全国都市緑化信州花フェスタパル」が中信地区八会場で約五十日間に亘って開かれ、市老連も参加し多くの市民や観光客で賑いました。

市老連の各行事活動は「継続は力成り」を基本テーマとして会員一人一人が目標を持って確かな歩みを進めています。市老連が毎年行なっている事業では、五月の市役所ロビー作品展・八月に花壇審査コンクール・十月にマレットゴルフ大会・十一月に市老連作品展・芸能大会が豊科公民館にて盛大に開催されており、この年間事業に関わっておられます役員各位には心から感謝を申し上げます。さて、待望の東京五輪・パラ

リンピックが七月、八月に開催されます。安曇野市内でも四月に豊科の近代美術館で第六回日展の巡回展が、九月には「ねんりんピック」の催しが穂高会館で企画されています。このように多彩な行事が予定されている中で、世界は地球温暖化により気象変化災害も多発しています。昨年は台風19号が襲来し、千曲川の堤防が決壊し甚大な被害が出ました。市老連では、被災された皆様の一日も早い復興を願う義援金を贈りました。また、世の中は少子高齢化、人口減

会報「あづみ野の風」発刊に寄せて



県老連会長 近藤 定利

上げます。

さて、人生一〇〇年時代を迎えようとしている今日、高齢者が健康で、仲間と支え合いながら地域づくりを進めていくことが求められており、こうした活動を半世紀以上にわたり推進してきたのが、私たち老人クラブの存在です。

しかしながら老人クラブが、高齢者や地域のニーズに的確に対応できる組織であり続けるた



市老連作品展・開場式テープカット

少社会、衣食住生活の対策が求められています。また、政治も経済も国際化、グローバル化時代へ、新自由主義経済の転換で格差社会へ間違いなく移行しつつある。私達は未来に向って明日を信じて健康で暮していける事を祈ります。

めには、会員減少という大きな課題を解決し、クラブの体力強化することが不可欠です。老人クラブが活力満ちたものになるため、会員の皆様一人ひとりが意識を持ち、新たな仲間へ呼びかけ、仲間づくりに一層の協力を頂きますようお願いいたします。

県老連では、本年度から新事業として「老人クラブの活動資金づくり事業」や老人クラブ事業として「SCカードの発行」等を始めたところです。

昭和・平成・令和と時が移り、老人クラブを取り巻く環境が大きく変わる中でも、これまで長年にわたり培った知識や経験を活かし、誇りと生きがいを持って活動していくことが、我々老人クラブの役割であることに変わりはありません。皆様と一丸となって時代にふさわしい活動を推進して参りたいと思っております。



令和元年6月20日、中信ブロック研修会

安曇野市老人クラブ連合会・花いっぱい 運動花壇コンクール審査結果 (令和元年8月22日実施)



市老連・花いっぱいコンクール 地域の人々の心を癒す 花壇審査を実施!

理事・会報部 丸山 宏 充

新しい年号の令和元年八月二十三日(日)に市老連では、会長・顧問、副会長、理事等の審査員十九名で五支部の花壇審査を行いました。各審査員は、午前八時十分には豊科身障者会館に集合し、バスにて出発。審査コースは、昨年と違い逆廻りの三郷→堀金→穂高→明科→豊科の順で、五支部の花壇を訪ねて心温まる歓迎を受けました。車内では支部代表から、クラブ花壇の規模や花の種類等の説明を受け有意義でした。最初に訪問したのは、三郷支部の中高長寿会。ひといちばシニアクラブ・下長尾寿楽会・野澤長寿クラブの四ヶ所を花壇審査。次に堀金支部の小田多井老人クラブ(対象外)

上堀老人クラブ・岩原豊茸会の三ヶ所を花壇審査。次に穂高支部の塚原さわやかクラブ・常念クラブ・本郷睦寿会・天原鶴齡会・等々力寿会・穂高町区愛好会、等々力町区日寿会の花壇審査を終えた所で昼食の為社協穂高支部で昼食を摂る。

昼食後は、残りの穂高支部の西原旭クラブ・富田平和会・新屋三ツ矢会・耳塚老人クラブ・橋爪シニア倶楽部の七ヶ所の花壇審査。次に明科支部の湖北長寿会・湖南長寿会・光長寿会の三ヶ所の花壇審査。最後は、豊科支部の田澤老人クラブ・熊倉春日会・寺所老人クラブひさご会・重柳老人クラブの四ヶ所を花壇審査。以上の五支部二十八ヶ

所(審査対象は二十五花壇)を廻り、午後四時頃に豊科身障者会館に帰着しました。帰着後、会長及び審査員代表による花壇集計が厳正に行なわれ、特別賞、金賞、銀賞、銅賞を選定しすべての作業を終了しました。

.....

長年の夢が実現

矢原鶴齡会 蓮井 八喜男

今年度、花いっぱい運動に於いて、特別賞を受賞。また、穂高支部より最優秀賞

所(審査対象は二十五花壇)を廻り、午後四時頃に豊科身障者会館に帰着しました。帰着後、会長及び審査員代表による花壇集計が厳正に行なわれ、特別賞、金賞、銀賞、銅賞を選定しすべての作業を終了しました。

.....

花壇入賞クラブに表彰状が贈られる

昨年の十月二十三日(日)市老連連合会大会の式典にて、入賞者代表に藤岡会長から表彰状が贈られ会場より大きな拍手が送られました。

を受賞。念願の最高位の三冠を初めて輝く事が出来た。会員の喜びも感慨深いものがある。花壇作りは、例年等の反省を踏まえ、苗作りは五種類選定し専門農園に依頼。六月六日に四〇〇本の苗を移植。以降作業日程に基づき、苗の成長状況に准じて対応し審査時に最良の花壇二箇所を努力した。信州花フエスタが中信地区各地で開催され、花に対する関心が高まる中、その一環として鶴齡会の小さな花壇に花を添える事が出来たかと思う。これから会員丸となって、特別賞に恥じない努力を継続していきます。

安曇野市老人クラブ連合会 女性会員の想い

女性部の活動状況見て

寺所ひさご会（豊科）
平林和子

寺所老人クラブひさご会では、年二回の保養旅行・マレットゴルフ大会・総会・物故者法要が大きな事業です。女性部は、その裏方担い料理等の買物・準備に力を注いでいます。



芸能大会で華やかな衣装でフラダンスを踊る

お勝手のお手伝いには、毎回十五、六人の方が出て下さり大変助かっています。今年の新年会（第四回定例会・誕生会）には、四十六名の方が参加され、和気あいあいと、親睦を深め飲食をし、後はカラオケで歌って楽しい一時を過ごします。又、区の公民館事業として、毎年二月には、やしよつま作りをするので、その時は、ひさご会の女性部が二応指導という事でやしよつまとすいといん作りをしています。また、年末の公民館の大掃除には、調理室の清掃を担当し、食器・器具類を清掃し所定の位置に納めるのも

私たちの仕事で皆であり力を合わせ終了した時にはホッとします。色々な行事をこなしていくには、女性部の皆さんの協力なしでは出来ません。只々感謝です。私も役員を退いても、今後は恩返しと思いついて出来る限り協力して行きたいと思っています。

スマホの勉強会を始めました

ひといちばシニアクラブ
田口さな江

最近、キャッシュレスとか、キャッシュレス消費者還元とか、スマホ詐欺とか、ウイルスとか、ガラケーが無くなる、使えなくなるとか、我々の生活に使用してきた携帯が時の流れ&進歩し、我々高齢者がついていくのが大変だと言う話題が上がりました。

たまたま、会員の息子さんが関係業務をしていると言う事で先生をお願いしたところ快く理解協力して頂ける事になり、そこで、昨



スマホ勉強会に参加された皆さん

年末より、勉強会を始めました。勉強会とは言えば、先生の言う事を素直に聞き、何となくわかったような感じですが、今回の勉強は、聞く言葉力タカナ、横文字、ちんぷんかん、何を質問していいか、何を教えて貰えばいいのか、会員の使用レベルが違う、また会員が保持しているスマホもメーカーによってマークも違う、こんなところから始めました。ショートメールはOKとして、SNS、ラインの繋げ方を教えて頂き、会員同士の会話・写真転送・無料電話・危険操作等から始まり、キャッシュレススマホ決済・ツイッター等に入っていくそうです。

岩原豊葦会の紹介

岩原豊葦会（堀金）
女性部長 上川小百合

岩原地区の老人クラブは、高齢者化にともない、継承が危うくなり、消滅しそうになりました。そこで、せつかく先輩方が築いて来たクラブを無くしてはいけないと立ち上がり、老人クラブと言う名では無く「豊葦会」と名づけ、六十歳以上が任意で入会して頂き、七十名近くの会員がいます。

活動として今年度は、研修会で教わった「紙紐と、ペットボトルキップで作る麦わら帽子」を作り作品展に出品しました。あとは会全体で行なう、花壇作り・ポウリング大会・新年会・日帰り旅行など、沢山の行事を計画し会員の親

睦をはかり、楽しく活動しています。



花壇手入れ後の懇親会

氏神様の例祭にあたり境内の清掃、「堀金憩いの里うらら」清掃奉仕などボランティア活動も行なっています。会員が集まり、情報交換とし、仲間作りを行い、お互いに支え合い生きがいを持ち、健康を維持し、地域社会の一員として、地域づくりに参加している様に頑張っています。

楽しいクラブ活動

穂高町区愛好会（穂高）
女性部長 安藤房子

町区愛好会は、カラオケ・吹き矢・踊り等、八クラブが活動しています。どのクラブも和気あいあい、で明るく笑い声が絶えません。時には「今日は……」と思うことがあります。ズクを出して公民館へ練習後はおしゃべりの時間、お茶のタイムです。足腰の痛み、物忘れ



あ、感謝！
打ちたての美味しいソバ。あ、感謝！
が増えきた話
等は、自分ばかり
でないと少し不安
も消え笑顔にもな
れます。

又、「昨年から「新そばを食べる会」を、二名のそば打ち名人より指導のもと、そばを打ち打ちたてでたてを頂きます。毎回二十名程が参加「またお願い」との声が
あり続いています。皆が元気でいられるのは、楽しい交流の場があるのだと思います。これからは皆で協力し活動して行きます。

こんにちは、荻原長寿会です

荻原長寿会（明科）
会長 山崎 晃

私たち荻原長寿会は、会員数九十名を前後しながら活動しています。高齢化すると何よりの楽しみは、皆とお喋りすることではないでしょうか。八月に納涼祭を開催した時にも、ビデオ観賞を設定した訳ですが、お喋りに盛り上がり、観賞して戴きませんでした。しかし、会員相互のコミュニケーションは図られたのではと思います。私たちは安曇野市からみどりヶ原霊園の清掃を受託し、毎回十五人位の参加により行なっており、この受託費により会員の福利厚生に活用しております。



みどりヶ原霊園を清掃する会員

安曇野市老人クラブ連合会 作品展

令和元年11月21日(木)～24日(日) 豊科公民館にて

親睦と融和の祭典 高齢者作品展

理事・文化部 中山 隆

平成三十一年五月一日に、元号が平成から令和に替わりました。昨年の十一月二十一日(木)～二十四日(日)の四日間、巨り安曇野市との共催で開催しました。開場式には、中山副市長・鈴木公民館長を来賓としてお迎えし、藤岡市老連会長と共に、来賓各位からの心温まるご祝辞を賜り、引き続きテープカットで華やかにオープン致しました。

会場は昨年と同じ二部屋の展示室を開設し百四十人が出展しました。写真の部十八点、絵画の部二十三点、書の部六点、工芸の部二〇三点、計二五〇点の力作が展示会場を埋め尽くしました。

今年から出品作品に通し番号を配したのも大きな特徴でした。昨年まで、ご来館の鑑賞者に意見・感想をいただくアンケートを実施して来ましたが、作品名の記入が厄介だとか、ご記入などが多く、応募者の壁となっていました。今回からは、全作品に通し番号を付け作品名記載の省略を可能にしました。その結果、アンケートの応募総数二三五枚(昨年二七枚)で一〇八枚増、特に二十三日の芸能大会は一二枚で総数の五二%、六〇歳～七〇歳の応募者五六%、男性三八%、女性六二%、穂高地区三七%、豊科地区二六%等でした。出品作品の中には、グループ作品が多くありました。「親睦と融和」を目的とする仲間づくりのコミュニケーション。そんなグループ活動の過程から制作された作品こそが、高齢者活動の生きがいの糧となっています。

最後に勝山孝子副会長の言葉を紹介します。「私たちは発表できる幸せをかみしめ、一年間の練習にみんなが励んだ成果を発揮して、そして明日への糧にして下さい。」



興味深く作品を見入る姿



来賓祝辞 中山副市長



主催者挨拶 藤岡会長



開場式司会 澤柳 伸



リフォームした洋裁や手芸品



丹精こめられ作られた松本手まり



美しい七夕飾りとつるし飾り



工夫されたユーモアある瓢箪細工



色彩豊かな絵画の数々



グループで制作を楽しんだ作品群



斬新さのある洋裁や美しい造花



一際目立つ大皿の陶芸作品



掛け軸・扁額・仏画等のコーナー

安曇野市老人クラブ連合会・芸能大会開催される!

令和元年11月23日(土) 開演：9時15分より

会場：豊科公民館大ホールにて



マジック：西原旭クラブ (穂高)



踊り「きよしの敬え歌」(三郷)



踊り「鳥取の傘おどり」新屋三ツ矢会 (穂高)



踊り「生きてよかった」萩原長寿会 (明科)



老ク連 元気に芸能発表 豊科で大会

11月23日(土) 豊科公民館大ホールにて開催された安曇野市老人クラブ連合会・芸能大会の様子が、11月24日(日)の「市民タイム」に掲載された。

報道された芸能大会の市民タイム

芸能大会・午後の部 (13時開始)



踊り「明科音頭」上押野長寿会 (明科)



混声合唱「札幌の空」アルプス銀嶺会 (豊科)



民謡「新相馬節」駒の会 (堀金)



踊り「うきうき音頭」穂高町区愛好会 (穂高)



踊り「命」明科支部 (明科)



踊り「千曲川」塚原さわやかクラブ (穂高)



踊り「これから音頭」柏原常念クラブ (穂高)



踊り「ひとひらの雪」上堀支部 (堀金)



唄「信濃恋歌」ひといちばシニアクラブ (三郷)



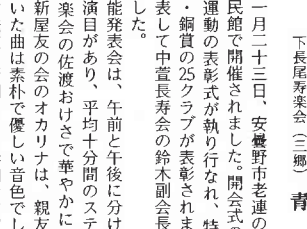
踊り「白鷺の城」吉野高齢者友の会 (豊科)



会長あいさつ (藤岡 嘉)



開会の言葉 (田口勝二)



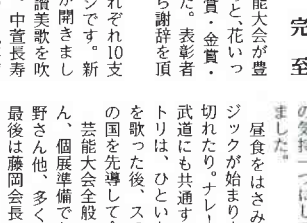
総合司会 (澤柳 伸)



芸能発表担当 (勝山孝子)



祝辞：沼田市議会議長



花いっぱい運動表彰式



信濃の国を全員で合唱する来場者



信濃の国の指揮者 (田口さなえ)



オカリナ演奏・新屋友の会 (豊科)



踊り「天竜流し」(三郷)



踊り「花笠音頭」新屋和奏会 (豊科)



踊り「木曾節」寺所ひさご会 (豊科)



踊り「なかよし音頭」(三郷)



踊り「春秋の舞」明科明峰会 (明科)

華やかに演じられた芸能大会!

下長尾寿楽会(三郷) 青木 完 至

十一月二十三日、安曇野市老連の芸能大会が豊科公民館で開催されました。開会式のと、花いっぱい運動の表彰式が執り行なれ、特別賞・金賞・銀賞・銅賞の25クラブが表彰されました。表彰者を代表して中萱長寿会の鈴木副会長から謝辞を頂きました。

芸能発表会は、午前と午後に分けてそれぞれ10支部の演目があり、平均十分間のステージです。新屋和奏会の佐渡おけさで華やかに幕が開きました。新屋友の会のオカリナは、親友が讚美歌を吹いていた曲は素朴で優しい音色でした。中萱長寿会は、法被を新調しての参加です。朝から観客席も確保し、なかよし音頭を踊りました。堀金駒の

会の民謡は、情景を思い浮かべながら聴き入りました。舞台ではピアノが用意されアルプス銀嶺会の気持一つにしての混声合唱で前半の部を終りました。

昼食をはさみ、午後の部は西原旭クラブのマジックが始まりました。リングも紐が繋がったり切れたり、ナレーターを担当した勝山女性部長は、武道にも共通する凛とした踊りを披露しました。トリは、ひといちばシニアクラブです。信濃恋歌を歌った後、ステージに残り、会場全員での信濃の国を先導して合唱しました。

芸能大会全般に亘って、音響を担当した星野さん、個展準備でお忙しいなか演目を盛で書いた芝野さん他、多くの裏方さん有難うございました。最後は藤岡会長の講評で芸能大会を無事に終了しました。

芸能大会・午前の部 (10時15分開始)

老連マレットゴルフ 大会を振り顧みて

恒例になっていきます市老連マレットゴルフ大会は、今年は三郷小倉の黒沢マレットゴルフ場にて、十月二十三日、五支部より選抜された総数一〇〇名が、他支部会員と共に参加。コースは山麓特有の起伏があり、また盛土したホールなど難しいコースをわきあいあいと親睦を深めながら楽しみました。また、例年十八ホールで実施してきましたが、今回は三十六ホールでのプレーに疲れも見せず、お互い声を掛け合い年齢を感じさせない姿に感心しました。相互の交流と親睦は、十分果たせた有意義の大会であったと思います。



目標を定めてナイスショットかな？

最後になりますが、今大会実施に当って、全てにご支援・ご協力頂きました黒沢マレットゴルフ場関係者に厚く御礼と感謝を申し上げます。



市老連よりのお知らせ

2020年

信州ねりんピック開催

文化・芸術祭典及びスポーツ大会を通じて、高齢者の生きがい・健康づくりや社会参加への関心を高める契機とするともに、健康と長寿に対する理解を深め、明るく活力ある長寿社会の実現を目指す事を趣旨として左記の項目にて開催しますので会員の方々の参加をお待ちします。

1. 文化・芸術交流大会

① 式典等

● 期日 2020年9月12日(土)

● 会場 安曇野市穂高会館

● 内容 式典・交流イベント(グループ出展、展示、体験等)・ステージ発表

② 囲碁・将棋大会

● 期日 2020年9月12日(土)

● 会場 安曇野市穂高会館

● 内容 囲碁大会・将棋大会

③ 高齢者作品展

● 期日 2020年9月11日(金)～9月13日(日)

● 会場 安曇野市穂高会館

● 内容 日本画・洋画・彫刻・手工芸・書・写真6部門の展示

2. スポーツ交流大会

● 期日 2020年9月26日(土)

● 会場 大町市運動公園

● 内容 総合開会式・主催者あいさつ・(実行委員長、長野県知事・大町市長)選手宣誓

会員加入促進活動 優良老人クラブ表彰

令和元年十月三十一日開催予定の第60回長野県老人クラブ大会は、十月十二日～十三日に襲来した台風19号により、長野市の千曲川が決壊し甚大な被害をもたらしました。その為、開催は中止となりました。被害にあわれた皆様には心よりお悔やみ申し上げます。県老人クラブでは、開催に用意していた、全国老人クラブ連合会長表彰・活動賞をひといちはシニアクラブが受賞。また「会員が五人以上増加した単位クラブに表彰」を行ない、今年度は県下99クラブが表彰されました。安曇野市からは、塚原さわやかクラブ、常念クラブ、北小倉長寿クラブ、下長尾寿楽会、中萱長寿会の五クラブが該当となり、表彰状が贈られました。

台風19号災害対策本部へ 義援金を贈る！

市老連では、令和元年十二月十九日、台風19号災害で被災された方々を支援する為、藤岡会長他役員は、市社会福祉協議会本所を訪れ、藤松事務局長に託し、義援金十八万八千二百六十四円を社会福祉法人長野県共同募金会へ寄せました。また、藤岡会長は「被災地の皆さんの助けになれば」と思いから、昨年の十一月に開催した作品展にて募金を呼びかけ一万二千二百六十四円を被災地に寄付している。

令和元年度 生涯スポーツ大会の感想

体育部長 田口勝二

この生涯スポーツ大会は、長野県長寿社会開発センター松本支部及び松本地区賛助会の主催で毎年開催されています。今年も九月一〇日、信州スカイパーク運動公園にて安曇野市老連より二十八名参加し、グランドゴルフ・ペタンク・マレットゴルフに分かれてプレーを楽しみました。昨年までは午前・午後での競技でしたが、一日のプレーでは疲れてしまうという声が多数寄せられたとの事で、今回より午前中だけで終了となりました。半日ではありますが、青空に笑い声が響き、また悔しがる声も聞こえ、すべてを忘れてプレーに熱中し、和やかな雰囲気の中、他の地区の方々と交流・親睦を深める事ができた有意義な一時でした。

投句

赤い羽根付けて突入 高齢者
老いてなほ速者であれと福わかし
鉄瓶へ薬草たぎる初日の出

中萱長寿会 大澤 文子
孫からむ絡みつかせて 初日の出
注連飾り 厳かなりし 三九郎
初鶴願い 参拝 神楽殿

中萱長寿会 小林 清次
初夢や母は夢でもたすき掛け
復興や初荷重たき真田丸

熊倉春日会 小川 初子
北国に雪降らずして白鳥は
安曇野の水味忘れしか

吉野高齢者友の会 勝山 孝子

編集後記

▼任期終了も間じかになり、この二年間を振り返れば右も左も全く判らないまま、緒先輩方に助けて頂き何とか務めることができ、ほっとしているところです。

▼この間、元号も、平成から令和になり変化の大きな二年間だったと思えます。そして、平成年間の記憶は大きな地震、気候変動による集中豪雨など災害の多い期間の記憶が残り、令和になって、元号のように麗しく和やかな時代になって欲しいと誰もが願ったと思いますが、地球温暖化の影響か、昨年も風水害による大変な災害が起きてしまいました。

▼そんな中、今年の年明けは雪もなく穏やかな新年を迎え、私としてはこの状況が続いて欲しいと思いますが、地域によっては雪不足で困っている所もあり、やっぱり平年並みか、一番皆様にとって幸せで平和なことだと思います。従って、雨も雪も例年通りの天候でほしいと願うばかりです。

▼結びに、傘寿を目前にして、夜中に目が覚めると、なかなか寝付けず、結果として寝不足に、朝もスッキリと目覚めず、当然ながら頭は冴えず、身体も動きが悪く年を取るとは、こういうことかと改めて身にしみて感じています。そこで、快適な睡眠を得る為、昼間に体を動かして、熟睡できるように心がけたいとおもいます。会員の皆様もそれぞれに心身ともにご健勝にてお過ごし下さい。今年もご活躍を祈念しております。二年間有難う御座りました。

会報担当 イトウ